



生徒の好奇心を引き出すアウトプット作りを手助け

リスニングや音読など、音声学習を充実させたいと考えて『アクティブ・リーディング Basic』を採用しました。テキストには音読の方法が豊富に紹介されており、生徒が飽きずに音読に取り組めるように工夫されています。

授業では最初に、CDのチャンツや口頭で英単語の確認を行います。次に英文のリスニングを行って質問の答えを考えさせ、関心を高めてからリーディングに移り、T/Fで内容を確認します。解説は重要表現に絞って簡潔に済ませ、各レッスン末の音読用ページを活用して、「全体→個人→ペア」で定着のための音読を行うのが一連の流れです。英文は150語程度で構成され、論理構成が明確なものが多いので、要約を行うこともあります。また、内容に関連した大学入試問題の読解につなげることもあります。

この教材を生かす鍵は、どのようなアウトプットにもっていくかにあると思います。英文には「クローン技術」や「安楽死の是非」など、大学教育をテーマに進路を考えさせる、決まった答えのない内容が扱われており、展開や問い掛け次第で生徒の反応が大きく変わります。興味を引き付けることができれば、生徒に深く考えさせる授業ができると思います。英文に関連した、何か驚きを与えるような情報を与え、そこから生徒の多様な意見やアイデアを引き出し、共有できるようなアウトプットを行いたいと考えています。

① 採用した理由

英単語・音読のCDの
使いやすさと、
英文の内容の興味深さ



② テスト実施方法

- 頻度
各レッスン終了時(レッスンテスト)
- 1回の範囲、問題数
授業で扱った内容、10~15問
- 問題の種類
単語(英→日)、フレーズ空所補充、
英文和訳、和文英訳、要約
- テスト作成CD
使用している

